

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	25-1
PDCA	主要事業名		J R 武豊線連続立体交差化事業		部課名	建設部 市街地整備課	担当 内線	左右木 452
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地							目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	全体事業期間： 平成 24 年度 ～ 令和9 年度 全体事業費等： 8,512,602 千円							
	会計		一般会計		歳出科目： 07.05.01.02.51			
	事業概要等	事業概要： J R 武豊線を高架化し、9か所の踏切を除却することにより、12か所の交差道路を整備する。また、鉄道沿線に側道6路線を整備する。このことにより、東西交通の円滑化、駅へのアクセス向上及び沿線環境の保全を図る。						
		事業目的： J R 武豊線の高架化を実施し、交差道路、側道を整備することにより、東西の円滑化と地域の利便性の向上を図る。						
		事業内容： 東西交通の円滑化や一体的な市街地の形成を図るため、愛知県が実施する高架本体工事等に対して負担金を支払うとともに、J R 武豊線の高架下空間の活用について検討を行う。						
		問題点・課題等： J R 武豊線の高架化と側道整備は密接に関連した事業であり、愛知県と連携してJ R 東海との調整や高架工事を進めていく必要がある。						
	予算額	主要事業とする理由						
	521,302 千円	J R 武豊線を高架化し、交差道路及び側道を整備することで、鉄道により分断された中心市街地の一体化を図るため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費 159,780 千円	東西交通の円滑化、地域間の交通利便性の向上が図られ、中心市街地の一体的なまちづくりにつながる。						
	国費 13,519 千円	目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
	県費 303 千円	事業進捗率	実績値	40.5	47.3	—	%	
地方債 347,700 千円	目標値		44.7	47.7	53.8	%		
その他 0 千円		実績値						
		目標値						
D 実績値	決算額	得られた成果						主要施策の成果報告書で活用
	504,209 千円 (うち繰越分34,483千円)	用地の取得が順調に進んだことで、高架本体工事において、国道247号付近の仮線への切替工事を実施できた。						
		成果指標		令和4年度	単位			
	事業進捗率	実績値	53.6	%				
目標値		53.8	%					
C 課題の整理	事業の評価・課題	C						
		高架側道整備事業については、側道用地すべての取得を目指し、残り2件の地権者交渉を実施した。高架下空間活用については、関係各課と連携しながら、立地特性の整理、商圈調査、人流調査、事業者へのヒアリングなどの現況分析を実施した。						
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	拡充推進						評価項目（決算時に作成）
		引き続き、高架側道用地取得率100%を目指し、粘り強く交渉を続けるとともに、高架本体工事の着手に伴い必要となる仮設道路の整備を行う。高架下空間活用については、JR東海と高架下の借地条件等の協議を進めるとともに、中心市街地活性化庁内連絡会議において、関係各課との連携を図り、高架下空間活用に係る基本方針を策定する。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 余剰	ない			
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余剰	—				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない						